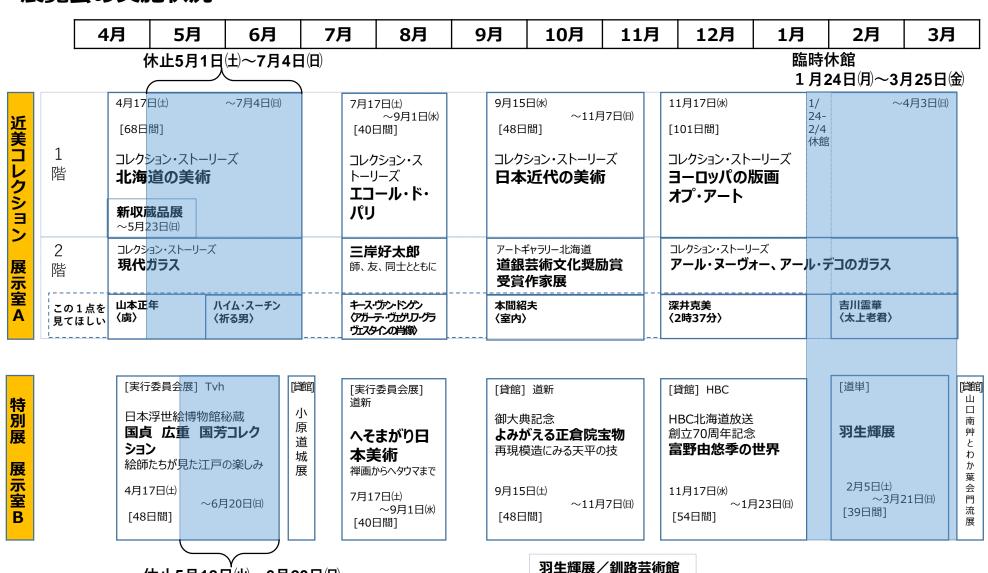
休止5月18日(火)~6月20日(日)

### (近代美術館)

資料1-1

### 展覧会の実施状況



10月9日(土) ~12月8日(水)

[53日間]

### (近代美術館)

### 【展覧会の実施状況】

〈近美コレクション(常設展)〉

| <u>,                                    </u> | ( ) I = 1 = 1 / /                                                   |                                                                                  |     |         |               |
|----------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|-----|---------|---------------|
|                                              | 展覧会名                                                                | 開催期間                                                                             | 日数  | 実 施     | 状 況           |
|                                              | 成 臭 云 口                                                             | 田 田 田                                                                            | □数  | 観覧者数    | 一日当たり<br>観覧者数 |
| 第 期                                          | <br>  コレクション・ストーリーズ <b>北海道の美術 現代ガラス/新収蔵品展</b><br>                   | 令和3年 4月17日(土)~ 4月30日(金)<br>※予定していた期間~7月 4日(日)                                    | 12  | 1, 026  | 85            |
| 第Ⅱ期                                          | コレクション・ストーリーズ <b>エコール・ド・パリ/三岸好太郎</b>                                | 令和3年7月17日(土)~9月1日(水)                                                             | 40  | 5, 380  | 134           |
| 第Ⅲ期                                          | コレクション・ストーリーズ <b>日本近代の美術/</b><br>アートギャラリー北海道 道銀芸術文化奨励賞受賞作家展         | 令和3年 9月15日(水)~11月17日(日)                                                          | 48  | 7, 745  | 161           |
| 第Ⅳ期                                          | コレクション・ストーリーズ <b>ヨーロッパの版画 オプ・アート</b><br><b>アール・ヌーヴォー、アール・デコのガラス</b> | (前期) 令和3年11月17日 (水) ~令和4年1月23日 (日)<br>(後期) 令 <del>和4年 2月 8日 (火) ~ 4月3日 (日)</del> | 54  | 3, 992  | 73            |
|                                              | =                                                                   |                                                                                  | 154 | 18, 415 | 119           |

| R2 | R1  |
|----|-----|
| 87 | 161 |

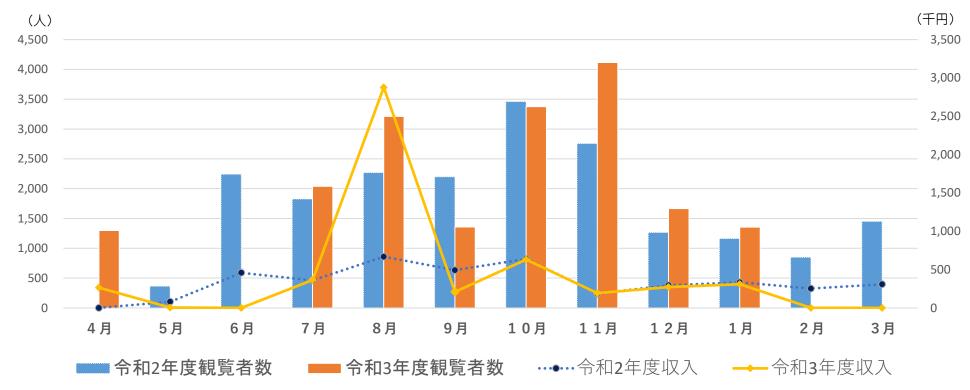
### 〈特別展〉

|                        |                                               |     | 実 施     | 状 況           |
|------------------------|-----------------------------------------------|-----|---------|---------------|
| 展覧会名                   | 開催期間                                          | 日数  | 観覧者数    | 一日当たり<br>観覧者数 |
| 国貞 広重 国芳コレクション (実行委員会) | 令和3年 4月17日(土)~ 5月16日(日)<br>※予定していた期間~6月20日(日) | 26  | 5, 824  | 224           |
| 小原道城展 (貸館)             | 令和3年 6月26日 (土) ~ 7月 4日 (日)                    |     | 4, 342  | 542           |
| へそまがり日本美術 (実行委員会)      | 令和3年7月17日(土)~9月1日(水)                          | 40  | 15, 873 | 396           |
| よみがえる正倉院宝物 (貸館)        | 令和3年 9月15日 (水) ~11月 7日 (日)                    | 48  | 26, 251 | 546           |
| 富野由悠季の世界 (貸館)          | 令和3年11月17日(水)~令和4年 1月23日(日)                   | 54  | 15, 604 | 288           |
| 羽生輝展 (道単) 【R4に延期】      | 令和4年 <del>2月 5日(主)~ 3月21日(日)</del>            |     |         |               |
| 山口南艸とわか葉会門流展 (貸館)      | 令和4年 3月26日 (土) ~ 4月 3日 (日)                    | 5   | 1, 393  | 278           |
| āt                     |                                               | 181 | 69, 287 | 383           |

| R2  | R1  |
|-----|-----|
| 402 | 921 |

### (近代美術館)

### 近美コレクション(常設展)の観覧者数と収入



|           | 4月      | 5月     | 6月      | 7月      | 8月        | 9月      | 10月     | 11月     | 12月     | 1月      | 2月      | 3月      | 計         | (R1)     |
|-----------|---------|--------|---------|---------|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|----------|
| 令和2年度観覧者数 | -       | 364    | 2,241   | 1,825   | 2,268     | 2,200   | 3,459   | 2,758   | 1,265   | 1,164   | 849     | 1,450   | 19,843    |          |
| 令和3年度観覧者数 | 1,298   | _      | _       | 2,038   | 3,212     | 1,357   | 3,374   | 4,115   | 1,666   | 1,355   | _       | -       | 18,415    | 41,494   |
| 令和2年度収入   | 0       | 80,180 | 457,250 | 358,370 | 667,220   | 491,930 | 638,050 | 184,770 | 295,240 | 333,770 | 252,340 | 307,536 | 4,066,656 |          |
| 令和3年度収入   | 263,300 | 3,530  | 0       | 364,220 | 2,875,650 | 208,210 | 630,080 | 191,270 | 271,510 | 308,960 | 0       | 0       | 5,116,730 | 7,464110 |

### (近代美術館)

### A 優れた作品の収集と保管

評価:B

### ○コレクションの活用状況

・近美コレクション(所蔵品を活用)令和2年度5回(425点)⇒4回(311点)

⇒次年度は3回の実施

#### ○コレクションの充実度

- ・購入 美術品取得基金を活用 伊藤 隆介(北海道の美術)
- ・寄贈 友田コレクション、油彩画家・野見山暁治やガラス工芸作家・家住利男を含む215点

#### ○保管状況の適切さ

- ・収蔵庫内をはじめ館内の害虫調査及び対策の実施
- ・所蔵作品の額に低反射アクリルを装着、野外彫刻5点の修復

【成果】 コレクションの活用と充実に大きな成果

【課題】 収蔵計画に基づく作品収集の推進、コレクションの保存と活用への取組

### (近代美術館)

### B 多彩で特色ある展示活動の充実

### 評価:C

### ○常設展示の充実度

- ・緊急事態宣言、緊急修繕工事による休館の影響により、観覧者数が指標の半数以下にとど まったほか、リピート率も減じた。
- ・一方、展示観覧者の満足度は高く、「この1点をみてほしい」の企画、ガラス展などが好評。

### ○特別展示の充実度

- ・休館の影響により、展覧会会期日数が大幅に減少。
- ・「へそまがり展」の解説文が好評。来場者アンケートも高評価の感想が多数。

### ○入館者の拡充

- ・コロナ渦の中の開館していることへの感謝の声が複数あり。
- ・動画配信に加え、SNSでの取組も随時工夫して行った。

【成果】休館があったものの、多彩なジャンルやテーマの展覧会を開催

【課題】展覧会の充実を図り、来館者数だけではなく満足度の向上に努めることが必要

C 豊かな人間性を育む学習の場と美術情報の提供

評価:A

### ○教育普及事業の充実度

・感染症対策を講じながら、講演会、ミュージアムトーク等を実施

### ○美術情報提供の充実度

・北海道リモート・ミュージアムの充実

#### コンテンツ [R3]

- ・へそまがり日本美術展を楽しむ!「名探偵物語 へそまがりの証 前編」
- ・へそまがり日本美術展を楽しむ!「名探偵物語 へそまがりの証 後編」
- ・コレクション・ストーリーズ アール・ヌーヴォー、アールデコのガラス|
- ・コレクション・ストーリーズ ヨーロッパの版画」



- ・HPのデザイン、内容を7月に一新。近年求められる人気の高い機能を実装。
  - ※Googleストリートビューの活用による展示室等のパノラマ、所蔵品データベースへのリンクによる作品の基本情報、サムネイル画像の閲覧・検索
- ・「北海道デジタルミュージアム」において60作品を多言語による解説とともに、公開

【成果】情報発信のあり方を大きく見直し、HPの改善やSNSの活用拡大に取り組む ことにより、アクセス数を大きく伸ばすなど成果をあげた。

【課題】幅広い年齢層に美術鑑賞を深めてもらう事業を積極的に展開することが必要

### (近代美術館)

D 活動の場となる調査・研究の推進

評価:B

### ○調査研究の充実度

- ・研究紀要はガラス工芸や北海道美術などに関する計4件の論考等を掲載して刊行
- ・研究成果は、展示への反映、解説執筆、新聞雑誌への寄稿等において幅広に示した。

【成果】「北海道の美術」や「ガラス工芸」のジャンルでコレクションに関連する研究が 多数進められ、展覧会、紀要講話等を通じてその成果を発信

【課題】コレクションや展覧会に関わる調査研究の推進と社会還元に取り組むことが必要

### E 地域文化の振興

評価: D

### ○地域の関係機関との連携状況

・コロナ感染症拡大防止のため、連携活動に影響はみられるものの、ボランティア活動については、対策を講じながら実施。

### ○学校との連携の状況

・学校との連携強化のため、広報チラシを配布

【課題】休館の影響により、学校との連携事業実施数が減少。美術に対する関心の向上 と美術館の利用促進を図るため、地域の文化活動との連携を強化する取組が必要

### F 良好な滞在空間の提供

評価:C

### ○付帯施設の充実度

・休館の影響などから、カフェやミュージアムショップとの協働した取組の実施に至らず。

### ○館のホスピタリティ

・利便性向上のためのキャッシュレス導入

#### ○施設環境の保持

- ・施設・設備の速やかな改修
- ・快適な環境への対応(ソファ、絨毯の交換、広場タイルの補修等)

### ※新型コロナウイルス感染症対策

・入口の検温カメラ・モニター、展示室の入退場カウントシステム等の整備

【成果】施設・設備の老朽化に伴う必要な工事を適宜行うほか、来館者の利便性・快適性を図るために、備品等を更新

【課題】施設・設備の老朽化が進んでいることから、日常の点検、計画的な補修工事を 実施するなど、来館者の利便性や快適性向上のための継続的な取組が必要

### 2 令和 4 年度運営計画

### (近代美術館)

#### ① 令和 4 年度の主な取組

### A 優れた作品の収集と保管

- 美術品取得基金の活用の取組
- 彫刻2点(うち1点は野外)、日本画3点の修復
- 作品の額のガラスを、低反射タイプに順次更新(継続)

#### B 多彩で特色ある展示活動の充実

- ※ 展覧会の内容については別途説明
- 英語の解説パネルの設置
- 移動美術館の開催(標茶町)

#### c 豊かな人間性を育む学習の場と美術情報の提供

- リモート・ミュージアム(動画コンテンツ)の作成・配信
- 「ミュージアムトーク」、家族を対象としたワークショップの実施
- 全収蔵作品のデータベースの更なる利活用

### ① 令和 4 年度の主な取組

### D 活動の場となる調査・研究の推進

- コレクション及び今後の展覧会等に関連した調査・研究とその成果を地域社会へ 還元
- 一般利用者・研究者等が行う調査・研究への支援・協力

#### E 地域文化の振興

- 北海道美術館協力会、美術館ボランティアと連携した教育普及事業の実施
- 小中高等学校等と美術館をオンラインで結び、学芸員が所蔵作品について授業を 行う<u>「道立美術館オンラインアート教室」(新)</u>
- 「アートギャラリー北海道」事業の実施、参加館への協力

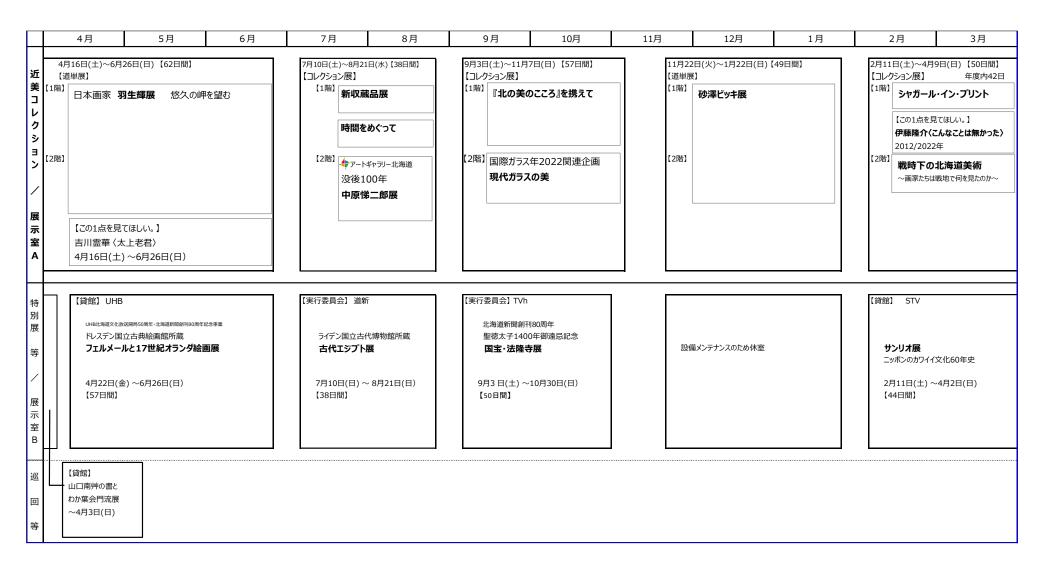
### F 良好な滞在空間の提供

- 来館者アンケートに対する回答掲示や迅速な対応
- カフェやミュージアムショップ事業者との魅力ある協働した取組の検討
- キャッシュレスサービスの利用拡大検討

### 2 令和 4 年度運営計画

### (近代美術館)

### ② 令和 4 年度展覧会事業



### 2 令和 4 年度運営計画

### (近代美術館)

### 【展覧会の実施状況】

### 〈近美コレクション(常設展)〉

|     | 展 覧 会 名                                                 | 開 催 期 間                  | 日数 | 実 施 観覧者数 | 状<br>一日当たり<br>観覧者数 |
|-----|---------------------------------------------------------|--------------------------|----|----------|--------------------|
| 第 期 | 時間をめぐって/アートギャラリー北海道 没後100年 中原悌二郎展/新収蔵品展                 | 令和4年7月10日(日)~ 8月21日(日)   | 38 | 7, 542   | 198                |
| 第川期 | 『北の美のこころ』を携えて/現代ガラスの美                                   | 令和4年 9月 3日(土)~ 11月 7日(月) | 57 |          |                    |
| 第Ⅲ期 | シャガール・イン・プリント/戦時下の北海道美術〜画家たちは戦地で何を見たのか〜<br>/この1点を見てほしい。 | 令和5年 2月11日(土)~ 4月 9日(日)  | 42 |          |                    |
|     | ē↑                                                      |                          |    |          |                    |

### 〈特別展〉

| 展 覧 会 名                    | 開催期間                                                | 日数 | 実 施 観覧者数 | 状<br>一日当たり<br>観覧者数 |
|----------------------------|-----------------------------------------------------|----|----------|--------------------|
| 沏生輝展 (道単)                  | 令和4年 4月16日(土)~ 6月26日(日)<br>※予定:令和4年2月5日(土)~3月21日(日) | 62 | 8, 761   | 141                |
| フェルメールと17世紀オランダ絵画展 (貸館)    | 令和4年 4月22日(金)~ 6月26日(日)                             | 57 | 103, 291 | 1, 812             |
| 古代エジプト展 (実行委員会)            | 令和4年7月10日(日)~8月21日(日)                               | 38 | 108, 120 | 2, 845             |
| 国宝・法隆寺展 (実行委員会)            | 令和4年 9月 3日 (土) ~10月30日 (日)                          | 50 |          |                    |
| 砂澤ビッキ展 (道単)                | 令和4年11月22日(火)~令和5年1月22日(日)                          | 49 |          |                    |
| サンリオ展 ニッポンのカワイイ文化60年史 (貸館) |                                                     |    |          |                    |
| 計                          |                                                     |    |          |                    |

# 令和4年度運営計画

### (近代美術館)

### ③ 令和 4 年度の予算状況

支 出

(千円) 収入

(千円)

|       | •  | _ <b>-</b>  |           |               |
|-------|----|-------------|-----------|---------------|
|       |    | 項目          | 金額        | 備考            |
| 維持管理費 |    | 269,376     | 給与費除<br>く |               |
|       | 展  | 近美コレクション    | 13,425    | AGH含む         |
| 事     | 覧会 | 特別展(道単)     | 11,250    |               |
| 業     | _, | 特別展(実行委員会)  | 4,000     |               |
| 費     | 教  | 育普及         | 252       |               |
|       | 調  | 查研究         | 465       |               |
|       | 移  | 動美術館        | 3,253     | うち一財<br>(107) |
|       | 親一 | 子ふれあい芸術体験事業 | 205       |               |
|       | 収  | 蔵作品修復       | 6,241     |               |
|       | そ  | の他          | 38        |               |
|       |    | 小計          | 39,129    |               |
|       |    | 計           | 308,505   |               |
|       |    |             |           |               |

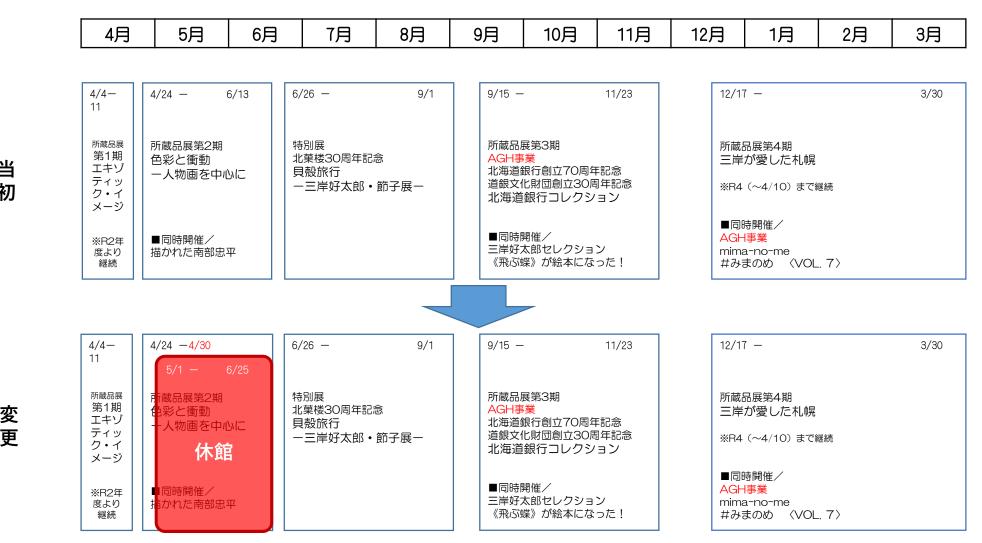
| 項目          | 金額      | 備考 |
|-------------|---------|----|
| 観覧料(近コレ・道単) | 15,730  |    |
| 貸館          | 11,985  |    |
| その他         | 4,100   |    |
| 収入計         | 31,815  |    |
| 一般財源(道費)    | 276,690 |    |
| 計           | 308,505 |    |

# 北海道立三岸好太郎美術館





### 展覧会の実施状況



### 展覧会の実施状況

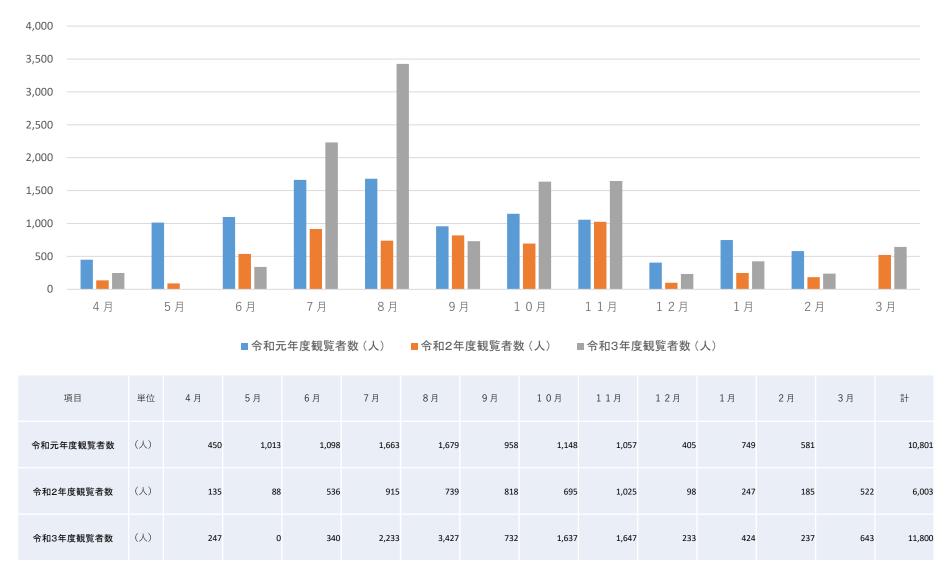
所蔵品展

| 展覧会名 |                                                                                                                    | 開催期間                                                 | 日数  | 観覧者数   |       |  |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|-----|--------|-------|--|
|      |                                                                                                                    | 州[[[初]]]                                             | 口奴  | 人数計    | 1日当たり |  |
| 第1期  | エキゾティック・イメージ-上海から道化へ(後期)<br>■スポット展示<br>《赤い服の少女》が絵本になった!                                                            | 令和3年4月4日(日) ~11日(日)                                  | 7日  | 165人   | 24人   |  |
| 第2期  | 色彩と衝動―人物画を中心に<br>■同時開催<br>描かれた南部忠平                                                                                 | 令和3年4月24日 (土) ~6月13日 (日)<br>令和3年4月24日 (土) ~4月30日 (金) | 6日  | 82人    | 14人   |  |
| 第3期  | アートギャラリー北海道<br>北海道北海道銀行創立70周年<br>道銀文化財団創立30周年記念<br>北海道銀行コレクション<br>■同時開催<br>三岸好太郎セレクション<br>■スポット展示<br>《飛ぶ蝶》が絵本になった! | 令和3年9月15日 (水)~ 11月23日 (火)                            | 61日 | 3,747人 | 61人   |  |
| 第4期  | 三岸が愛した札幌<br>■アートギャラリー北海道<br>mima-no-me<br>#みまのめ〈VOL. 7〉                                                            | 令和3年12月17日(金) ~ 令和4年3月30日(火)<br>(翌年度に継続~4/10(日))     | 80日 | 1,537人 | 19人   |  |
|      | 計                                                                                                                  |                                                      |     | 5,531人 | 36人   |  |

#### 特別展

| 展覧会名                          | 開催期間                 | 日数  | 観覧<br>人数計 | 者数<br>1日当たり |
|-------------------------------|----------------------|-----|-----------|-------------|
| 北菓楼30周年記念<br>貝殻旅行 一三岸好太郎・節子展一 | 令和3年6月26日(土)~9月1日(水) | 58日 | 6,269人    | 108人        |
| 計                             |                      | 58⊟ | 6,269人    | 108人        |

### 観覧者数の推移



美術館評価

### 【基本的運営方針】 A優れた作品の収集と保管

評価 B

#### コレクションの活用状況

所蔵品点数263点(寄託含む)に対し、所蔵品展で149点ならびに特別展で28点、館外展示として三岸サテライト4点、知事室1点、貸し出し28点を含め、計210点を活用し、ほぼ目標を達成することができた。

### コレクションの充実度

三岸好太郎が妻・節子を描いた《女の顔(絶筆)》は、節子が生涯手放さず、節子の死後も遺族が保管してきた作品。特別展「貝殻旅行-三岸好太郎・節子展-」開催の記念に出品された。所蔵者から寄付の申し出があり、当館コレクションの充実のため収集した。

### 保管状況の適切さ

館内の虫害対策や紫外線量の測定管理など、保管・展示環境の適正な維持に努めるとともに、昨年に引き続き、収蔵庫内の整理を行い、脆弱な登録資料については、中性紙による保存箱に分類整理し、保存環境を整えた。5点の作品の額に、低反射アクリル板を取り付けた。

美術館評価

### 【基本的運営方針】 B 多彩で特色ある展示活動の充実

評価C

### 常設展示の充実度

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、休館期間があったことなどから観覧者数は目標値の40%程度であった。満足度及びリピート率はほぼ目標を達成した。

### 特別展示の充実度

日本の近代洋画史上、最も有名な画家夫婦、三岸好太郎と三岸節子の二人が築いた 鮮烈な絵画世界を紹介。夫婦の傑作が一堂に会す全国規模の展覧会は1992年以来 30年ぶりであり、特にそれぞれの代表作から絶筆までが共演するのは初めてとなる 意義深い展覧会となった。

来館者数は目標値を若干下回った。

### 入館者の拡充

絵本を通じて作品の魅力を紹介する小企画を実施。今年度は、≪飛ぶ蝶≫をテーマに新作絵本を制作し、原画とともに展示。好評を博した。

美術館評価

### 【基本的運営方針】 C 豊かな人間性を育む学習の場と美術情報の提供 評価 D

### 教育普及事業の充実度

新型コロナウイルスの感染拡大を防止する措置として、参加人数を制限して実施したことから、参加者数は目標値を大幅に下回った。学校教育との連携授業は、三密を避けるなど、感染症対策を講じながら対応した。

#### 美術情報提供の充実度

来館者数が大きく減じたことに従い、図書利用者数も大幅に減少することとなったが、満足度は維持した。SNSでの発信は、今後も強化していきたい。

美術館評価

### 【基本的運営方針】 D活動の基礎となる調査・研究の推進

評価 B

### 調査・研究の充実度

一宮三岸節子記念美術館とともに作品調査をすすめていた「貝殻旅行 - 三岸好太郎・節子展 - 」では、同展覧会図録に小論や作家解説などを執筆するとともに、節子美術館でのクロストーク等で研究成果を発表した。北海道美術に関する調査研究では、当館の所蔵品展や道近代美術館を会場にした「この1点を見てほしい」で、その成果を展示に活かした。

### 【基本的運営方針】 E 地域文化の振興

評価C

新型コロナウイルス感染防止の観点から、ボランティアの解説活動は、すべて休止となったが、ボランティア向けの特別オリエンテーションは例年通り実施した。解説ボランティアの部内研修にも学芸員が、講師として参加した。

### 学校との連携の状況

新型コロナウイルス感染症の影響により学校と授業連携の申し込みが減少した。博物館実習の受け入れや、学校の団体観覧に際しては、三密を避けながら、各学校の授業内容に応じて三岸好太郎について解説を行った。12月には、松前高校の1年生を対象に、オンラインで蠣崎波響についての出前授業を行った。

美術館評価

### 【基本的運営方針】 F 良好な滞在環境の提供

評価 B

### 附帯施設の充実度

常設展、特別展を問わず年間を通じて、高い満足度を保つことができた。

#### 館のホスピタリティ

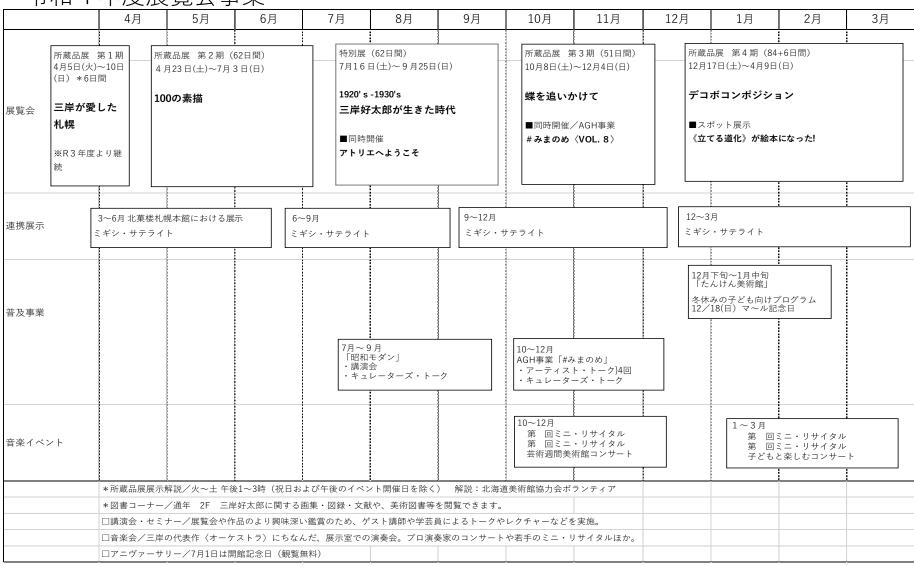
来館者に対し、感染予防措置の理解を求めることとなったが、苦情、混乱なく、質の高い鑑賞空間の提供ができた。

#### 施設環境の保持

常設展、特別展を問わず年間を通じて、高い満足度を保つことができた。館内の案内板、料金表示など表示パネルをリニューアルし、視認性、清潔感と美観の向上に努めた。

# 2 令和4年度運営計画(三岸好太郎美術館)

#### 令和 4 年度展覧会事業



# 2 令和4年度運営計画(三岸好太郎美術館)

### 令和4年度展覧会事業

| 1) 所蔵品原                            |                                                       | ±                                                                                                                                                                                                                                   | BB A4 H0 BB                               | - W  | 観覧        | 者数          |
|------------------------------------|-------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|------|-----------|-------------|
|                                    | 展覧会名                                                  | 内容                                                                                                                                                                                                                                  | 開催期間                                      | 日数   | 人数計       | 1日当たり       |
| 第1期                                | 三岸が愛した札幌<br>※R3年度より継続                                 | 三岸が生まれ育った街・札幌。上京後も幾度となく訪れては画家仲間と交流し、移りゆく札幌の風景を描きました。昭和初期の札幌を映した9.5mmフィルム映像とともに、三岸のみつめた札幌を振り返ります。                                                                                                                                    | 4/5[火]~4/10[日]                            | 6日   | 145人      | 24人         |
| 第2期                                | 100の素描                                                | 三岸は油彩製作とは別に、上海の少女や道化、風景などをテーマにして多くの素描をのこしました。本展では、旅先でのスケッチ、人物デッサン、《道化》シリーズや《オーケストラ》の習作のほか、晩年の傑作筆彩素描集『蝶と貝殻』に至るまでを一堂に紹介。三岸が描く線の魅力に迫ります。                                                                                               | 4/23[土]~7/3[日]                            | 62日  | 1,965人    | 32人         |
| 第3期                                | 蝶を追いかけて<br>■アートギャラリー北海道<br>mima-no-me<br>#みまのめ⟨VOL.8⟩ | 蝶をナビゲーターとして、《檸檬持てる少女》や《道化役者》、《飛ぶ蝶》など数々の名作を生み出し続けた画家の一生を追うとともに、様々な美術作品に登場する蝶のモチーフを紹介します。<br>■北海道ゆかりの若い作家を紹介するシリーズ企画8回目。新鮮な感覚と多彩な表現に光をあてます。                                                                                           | 10/8[土]~12/4[日]                           | 51日  |           |             |
| 第4期                                | デコボコンポジション<br>■スポット展示<br>《立てる道化》が絵本になった!              | 絵の具を重ねてできたデコボコやザラザラなどの不思議な質感。厚塗りした画面を引っかいて生まれた描線。紙素材を組み合わせた貼り絵(パピエ・コレ)。新しい表現を求め続けた三岸の実験精神に注目します。 ■スポット展示では、所蔵品を絵本で紹介する企画3回目。札幌在住の絵本作家、やまだなおとさんが描くちょっと不思議な物語をお届けします。                                                                 | 12/17[土]~2023. 3/30[木]<br>(翌年度に継続~4/9[日]) | 84日  |           |             |
|                                    |                                                       | āt                                                                                                                                                                                                                                  |                                           | 203日 | 2,110人    |             |
| 2) 特別展                             |                                                       |                                                                                                                                                                                                                                     |                                           |      |           |             |
|                                    | 展覧会名                                                  | 内容                                                                                                                                                                                                                                  | 開催期間                                      | 日数   | 観覧<br>人数計 | 者数<br>1日当たり |
| 1920's-19<br>三岸好太<br>■同時開<br>アトリエへ | 郎が生きた時代<br>催                                          | 1923年の画壇デビューから、わずか10年あまりの間に日本の近代洋画史を彗星のごと〈駆け抜けた三岸好太郎。三岸は何を見て、何に心躍らせていたのか探るべく1920~1930年代にかけての国内外の美術潮流を見つめます。<br>■バウハウスに関心を深めた三岸が、晩年夢を膨らませた新アトリエの建築。しかし三岸は旅先で急逝。妻・節子が苦労の末に完成まで導きました。建築当時の写真と現存するアトリエ(東京・鷺宮)とを比較しながら、こだわりの外観・内観を詳し〈紹介。 | 7/16[土]~9/25[日]                           | 62日  |           |             |
|                                    |                                                       | ät                                                                                                                                                                                                                                  | 1                                         | 62日  |           |             |

# 2 令和4年度運営計画(三岸好太郎美術館)

### 令和4年度の予算状況

支出 (千円)

|                                         |       | 項目         | 金額     | 備考       |
|-----------------------------------------|-------|------------|--------|----------|
| 維持                                      | 管理費   |            | 13,411 |          |
|                                         | 展覧会   | 常設展        | 2,794  | AGH含む    |
|                                         |       | 特別展(実行委員会) | 2,434  |          |
| 事                                       | 教育普及  |            | {      | 親子ふれあい含む |
| 業                                       | 調査研究  |            | 71     |          |
| 費                                       | 維持運営費 | •          | 1,208  |          |
| *************************************** | その他   |            | 01     | 感染症対策    |
|                                         | 小計    |            | 6,866  |          |
|                                         |       | 計          | 20,277 |          |

収入 (千円)

| 項目        | 金額     |
|-----------|--------|
| 観覧料 (常設展) | 2,410  |
| その他       | 341    |
| 収入計       | 2,751  |
| 一般財源(道費)  | 17,526 |
| 計         | 20,277 |

名 称

**これからの北海道立近代美術館検討会議** (令和4年1月12日北海道教育委員会教育長決定)

趣旨

○ 老朽化した近代美術館について、施設整備方針の検討が必要なことから、これまでの美術館活動を検証するとともに、 求められる役割や今後のあり方について、有識者から意見聴取を行う。

これまでの 議論

| 区分                                            | 開催期日            | 議事備考                                                        |  |  |
|-----------------------------------------------|-----------------|-------------------------------------------------------------|--|--|
| 第1回                                           | 令和4年<br>2月1日(火) | <ul><li>・ 開催要領</li><li>・ されまでの経過</li><li>・ う後の進め方</li></ul> |  |  |
| 第2回                                           | 3月1日 (火)        | ・近代美術館活動の検証                                                 |  |  |
| 第3回                                           | 5月12日(木)        | ・ 近代美術館活動の検証 ※人事異動に伴う開催要・ 新しい近代美術館のミッション 項の一部改正             |  |  |
| ※7月 ステークホルダー等への意見聴取実施                         |                 |                                                             |  |  |
| 第4回                                           | 7月20日(水)        | ・ 近代美術館のミッション等に関する意見聴取の状況                                   |  |  |
| ※8月 近美公邸エリアのサウンディング型市場調査実施 (道総務部、道教委文化財・博物館課) |                 |                                                             |  |  |
| 第5回                                           | 9月7日 (水)        | <ul><li>近代美術館のミッション・コンセプト案</li><li>施設整備の考え方</li></ul>       |  |  |
|                                               | ※9月23日(金)~2     | 25日(日) 近代美術館2階ロビーにおいて、道民からの意見聴取(オープンハウス)<br>を実施             |  |  |

今後の進め方

- ・令和5年2月までの間、4回~5回程度会議を開催し、施設整備の考え方、運営方法のあり方等意見聴取
- ・令和5年2月には、施設整備の方向性等を素案としてまとめる予定

#### ミッション及びコンセプト案

2022/09/07 北海道立近代美術館

#### 1 ミッション案

※ ヴィジョン(ミッションを達成した後の姿)を意識した、今後の道立近代美術館の使命や役割を示すもの)

北海道立近代美術館は、すべての道民が美術の持つ豊かさを享受できる社会づくりの場となります。また、多様性の尊重等、今日の課題を視野に入れながら、創造的で公共的な美術館活動を進めることによって、未来に向かって進む北海道のシンボルとなります。

#### 2 コンセプト案

※ ミッションを達成するための柱となる概念・基本思想。

#### (1) 伝える 基本機能の進化

調査研究、収集保管、展示、教育普及によって美術作品の美的・歴史的意義等を現在と 未来の人々へ伝えるという美術館の基本機能を、社会の変化に即して進化させていきま す。

#### (2) 刺激する 感性と好奇心の活性化

地域性、国際性、時宜性、将来性を重んじた独創的な調査研究や企画によって、人々の感性と好奇心を刺激し、活性化させ続けます。

#### (3) 包み込む 包摂とアクセシビリティの向上

すべての世代に、障害や距離の有無等に関わらず美術館を楽しんでもらうために、ユニバーサル・デザインやデジタル技術の活用、ソフト・ハードのバリアフリー化等によって、利用しやすさを向上させます。

#### (4) 招く 居心地のよい施設と環境

都心にありながらみどり豊かという立地を活かして、居心地がよく、また、人間の活動と自然の営みとの調和を実感できるような、施設と環境の整備を進めます。

#### (5) 結ぶ ネットワークの拡張と地域との協働

様々な人々との間にネットワークを広げ、地域の課題に美術館活動の知恵とノウハウを 提供し、協働することによって、地域の活力向上に貢献します。

### 1-(4)美術館評価システムの改善について

### ○ これまでの検討状況

- · R3 美術館評価制度改正検討プロジェクトを設置
  - ※座長:文化財・博物館課長
  - ※構成員:道立美術館課長(副館長)、文化財・博物館課職員
  - ※年度において3回の会議を開催

### ○ 検討の方向性及び課題等

(検討の方向性)

- 業績測定型評価から目標管理型評価へ
- ・ 館運営の継続的な改善に役立つ評価へ (課題)
- · 評価の説明責任を果たすためには、重点目標の達成状況にとどまらない美術館 運営の全般的な点検が必要
- ・ 運営状況を評価するための共通の物差しの必要性
- 中長期の目標設定の困難性

### (今後の対応)

- ・ 毎年度策定する運営計画を起点とする評価システムの確立
- ・ 評価項目及び評価指標について、博物館法の改正等を踏まえ見直し

### ○ スケジュール

- ・ 9~1月 検討チームによる指標等の検討、評価要綱改正案の策定
- ・ 2月 評価要綱改正案について、美術館協議会委員からの意見聴取
- 3月 評価要綱改正
- 4月 新制度運用